

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	－	－
	○	百貨店（営業担当）	・人の移動が今後更に増える。また、軒並み中止していたイベントの開催や消費者還元事業などによる効果が少しずつ現れることが予想される。
	○	家電量販店（店長）	・10月以降、前年と比べ増税後の落ち込みがない分、上向くとみられる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・市場環境が良くなれば来場者数は増えてくる。メーカーの集客イベント等も少しずつ開催していく予定はあるので、現在の状況よりは回復していく。
	○	乗用車販売店（従業員）	・車両販社に限れば、車種は偏っているが、長納期の影響が徐々に解消されつつある。
	○	乗用車販売店（本部）	・新規来店客の購買意欲は比較的高い傾向にあり、一部に長納期を伴うバックオーダーを抱える状況も出現してきた。一方、サービス入庫でも季節商材を含めた除菌消臭アイテムの施工オーダーも多く、総じて市場は動いてきた印象を受ける。
	○	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・夏休みやお盆を迎えて、例年とまではいなくても多少良くなる。
	○	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスが沈静化し、東京がGo To Travelキャンペーンの対象地域になる可能性を期待している。日本中で新型コロナウイルスが沈静化することを心から期待している。
	○	旅行代理店（従業員）	・Go To Travelキャンペーンが始まったので、その効果により多少は良くなると思うし、期待したい。
	○	競艇場（職員）	・再開後少しずつ客が増えていき、現在はほぼ前年と変わらない状況である。前年同様に客足が戻ってくるようならば、単価は上がっているので売上アップは期待できる。
	○	住宅販売会社（経営者）	・他地域からの移住希望が多く、中古住宅の間合せや販売が増えている。
	□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・客のニーズを喚起することはやぶさかではないが、商品の供給量が今後先細りする可能性があるため、何とも不透明である。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・新型コロナウイルス関係のものは今後も出るとみているが、新型コロナウイルスの影響で来店を控えている客がいるので、その分が目減りしているのではないかとみている。
	□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・多少なりとも期待をしていたGo To Travelキャンペーンも中途半端な状態となり、本当に苦しい状態はこれからとみている。首都圏と比べると感染者を出してはいけない意識が強く、プレッシャーとして感じる地方だからこそ、消費者も外出することや楽しむための消費をすることに罪悪感を抱いている。このままでは地方経済は更にひっ迫する。
	□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・梅雨もいつ明けるか分からず、猛暑というよりは冷夏のように、商品の動きは鈍い気がする。
	□	百貨店（売場主任）	・地域内の他業種を含めて経済活動の低迷が続くと予想され、個人消費も上向くとは考えにくい。加えてメーカー側の生産減により、今後商品確保が前年と比較しても困難になることが考えられる。
	□	百貨店（経営者）	・地域の経済活性化施策など今後期待できる取組もあるが、消費に対するマインドは食料品以外はなかなか上がらないとみている。新型コロナウイルス感染者数や豪雨被害などの報道の影響が大きい。
□	スーパー（店長）	・来客数はほぼ動きがなく前年並みを維持している。ただ、客単価が若干上がってきている。今の状況はこのまま続くと予測している。	
□	スーパー（店長）	・新型コロナウイルス感染者数の増減によって人々の消費動向も変わるため、なかなか先が予測しづらい。	
□	スーパー（企画担当）	・まだまだ新型コロナウイルスによる内食需要が続いているため、食品スーパーとしてはやや景気の良い状態が続いており、2～3か月後も変わらないとみている。	

<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・現状では客単価や買上点数は堅調であるものの、来客数が戻らないことにはどうにもならない。新型コロナウイルスの早期終息を願うばかりである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・深夜帯に来店いただいていた飲食業従業員の来店が減っている。営業自粛による収入減が影響しているとみられる。状況変化はない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息に懸かっている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・秋冬商材を入荷するが、最近のふだん着中心のニーズは変化しないと予測している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染者がまた増えている状況なので希望的観測ではあるが、礼服の需要については、現在、家族葬から少し広範囲の他県でのお悔やみや縁の薄い方の御葬儀へ参加するように変わってきている。そして、滞っていた結婚式が始まればスーツ購入に対するモチベーションが変わってくるのではないかと考えているので、婚礼が増えてくるのかどうかを注視している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染者が増えている状況のなかで、密集を避けるため来客数に影響が出ることが予想されることから、今月より良くなるとは考えられない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者が増えているという報道が多くなっており、それにより消費が落ち込んでいるのでしばらくは上がらない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルス禍のなかで、経済が停滞しているため、いろいろな計画が保留中になっていることから、受注量が増えるという予想はできない状況である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・悪いまま変わらないとみている。一般企業でも先行きに不安があれば新入社員は採らないし、経費削減で買い控えが進む。観光業、飲食業が持ち直さない限り厳しさは続く。また、この機に閉店、廃業という店も出ているようで絶対数が減ってきている。今後も減るのではないかと心配している。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・Go To Travel キャンペーン等、政府の様々な施策が立てられているものの、やはり新型コロナウイルス終息の道筋がみえない限り、景気に対する消費マインドは不透明感が続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・ランチの客数はそれなりの数字で推移しているが、ディナー客数は上がってきていない。週の半分はディナー客数がゼロである。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（支配人）	・Go To Travel キャンペーンが始まり、宿泊は土日連休などは入ってきているが、レストランの集客は朝食のみとなっており、昼夜は御利用いただけていない状況である。地域の方が新型コロナウイルスを危険視するためにホテルの利用控えが増えているようである。昼夜の動きが悪い状況は続くと思込んでいる。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・いつ新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生するか分からないので、良くなる悪くなるとは一概には言えない。新型コロナウイルスの状況次第である。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・このところ感染拡大が続いているので、不安定な状態が続き回復といえるまでは届かないとみている。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響によって予約申込みが左右される部分が多い。新型コロナウイルスの終息を期待するとともに、受入れ側としての対応をしっかりと取っていきたい。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・最近、当市においても毎日感染者数の発表があり、高齢者は医療機関にも行かない状況である。新型コロナウイルスの影響で先行きも暗い。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・すぐに好転するような好材料に乏しい。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大への懸念と景気拡大策が交錯しており、一喜一憂は変わらないと推察している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・家庭での通信環境整備も一段落したため、これまでのような新規の加入申込みは増えないとみている。それでも新規の拡大エリアからは、テレビサービスの新たな加入者が見込まれるため、客はそれほど減少しないものと予想している。テレワークは地域性から定着せず、新たな通信利用の申込みは、余り期待できない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの状況次第である。

□	観光名所（職員）	・ゴールデンウィーク中の自粛により、新型コロナウイルスの問題が終息に向かったように思えたが、このところの首都圏での発生状況から再燃が懸念される。秋以降に修学旅行などの大型団体の予約があるものの、そうなれば春同様、全キャンセルになる可能性が高い。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・以前よりはにぎわいを回復してきているものの、イベントや人の動きの制限、全国の感染状況などにより、一進一退の状況になると予測している。
□	設計事務所（経営者）	・先行きの不安を抱えながらの商売が続くと予想される。
▲	商店街（代表者）	・4～6月の新型コロナウイルスの影響も7月に入り下火になってきており、少しずつ来客数、売上共に上昇してきた。しかし、当地域でも新型コロナウイルスに感染した人がいるという報道があり、一気に来客数がダウンしている。また、祭りの中止や各地域のイベントが中止になると報道され、一般市民並びに商業者に関しては、期待や希望の光が消えたような状況である。
▲	商店街（代表者）	・当県は新型コロナウイルス感染者数ゼロが続いているが、県外からの観光客や夏休みの帰省者が増加している。感染者が発生すれば春と同様に外出を控える方が増加し景気が停滞する。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの第2波の影響を懸念している。
▲	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・地場の産業が落ち込んでいるという話を、働いている方や会社経営の方から具体的に聞くので、大変なことが起きつつあるという印象を受ける。政府も景気対策をしているので明日から極端に悪くなるとは思えないが、いずれ徐々に表面化してくるのではないかと。
▲	百貨店（買付担当）	・新型コロナウイルス感染者の増加により、戻りつつあった客もまた自粛生活に戻り、外出を控える傾向はより強くなるとみられる。
▲	スーパー（経営者）	・8月はお盆需要を期待したいが、ステイホームで帰省の減少も予想され、盆用特殊商材以外、おもてなし消費は余り期待できないのではと推測している。給付金、無利子貸付制度も一巡しつつあり、景気浮揚対策の継続が難しくなるので、中小企業は更に経営が厳しくなるとみている。雇用も消費環境も一層悪化していくのではないかと危惧している。
▲	スーパー（経営者）	・首都圏の新型コロナウイルス感染者の増加により、お盆の帰省が大幅に減少することが予想され、お盆期間の特需効果が薄れる。また、Go To Travelキャンペーンで地方も新型コロナウイルスの感染リスクが高まり、近距離の移動も気遣う傾向になるとみられる。
▲	スーパー（店長）	・8月のお盆の帰省でこの土地に戻る人が少なくなれば売上に多少影響するのではないかと不安を覚えている。
▲	スーパー（営業担当）	・気温の関係もあるが、前年比で夏物商材、特に飲料、酒関係の動きが悪く全体の売上にマイナス影響を及ぼしている。また、新型コロナウイルス禍で行楽、帰省も減り、お盆の営業が厳しくなると予測される。
▲	スーパー（営業担当）	・感染者数こそ増えていないが、今後感染が広まるおそれがあることや地場産品の不作による収入減での消費減退から、財布のひもが固くなるのではないかと考える。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスは間違いなく日本全国に広まっていることから、完全に下向きになっていくとみている。
▲	コンビニ（経営者）	・夏場でこれほど低い売上である以上、数か月での回復は見込めない。気温の低下と比例して売上也落ちていくのが常なので、今後もかなり厳しい経営状態になることが予想される。今後の先行きに不安しかない。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者が全国的に増加しており、景気回復は当面見込めない。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が大きい。
▲	コンビニ（エリア担当）	・夏祭りや花火大会中止などイベント需要がないため、日販の落ち込みは更に深刻化する。
▲	コンビニ（エリア担当）	・今後も第2波の影響で来客数は減少していくと予測している。

▲	コンビニ（店長）	・今後の見通しについて、休業要請なのか、休業のお願いなのか、何もしないのか、Go To Travelキャンペーンがどうなるのか、政府の方針が曖昧で、会社の方針もどうしたらいいのか分からないような状況である。どっち付かずの不安な雰囲気が漂っていて、消費マインドはしばらくの間下がっていくのではないかとみている。
▲	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえてこない限り、人の移動が制限されて県外からの観光客もまばらのみである。県内のプレミアム食事券や宿泊券の利用で活気を取り戻してほしい。
▲	衣料品専門店（店長）	・給付金特需が落ち着き、新型コロナウイルスの第2波が来ている現状では、今後良くなる要素が見つからない。
▲	住関連専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続いており、景気が良くなるまでには時間が掛かる。
▲	その他専門店〔靴〕（従業員）	・全国的に新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、収束までにはかなりの時間を要するとみている。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・夏休みを含む移動需要については、外出自粛などの影響により減少するため、販売量の減少は避けられない。
▲	一般レストラン（経営者）	・長い期間にわたって経済活動が停滞していることから、これまで飲食店を中心に出ていた影響が全体に波及していき、財布のひもはますます固くなっていくのではないかと予想している。
▲	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症拡大次第である。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数が首都圏で増えてきている影響が、地方にも出始めるとみている。
▲	観光名所（職員）	・新型コロナウイルスの影響もそうであるが、テレビで全国的に当地の河川氾濫のニュースが取り上げられている。このようになると、舟下りの区間は何ともないがかなり影響が出ることが予想される。少ない予約にますますキャンセルが出てやや悪くなっていくのではないかと。
▲	遊園地（経営者）	・新型コロナウイルスの状況により、イベントが予定どおりできるかどうかなど不安要素が大きく、厳しい見通しである。
▲	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・特別定額給付金の給付による特需効果は薄まるとみている。
×	商店街（代表者）	・全ての業種において法人関係の利用が完全に止まっている。近い将来もそういう形が続くとみている。
×	商店街（代表者）	・予想が付かないのは前月と同じだが、気候、新型コロナウイルス、自粛と売上のめどが立たない。
×	スーパー（経営者）	・可処分所得が伸びないなか、マインドが低下し、なおかつ祭りや帰省等もなく非常にムードが悪い状況に陥っているため、消費がなかなか伸びてこない又は減少している。
×	コンビニ（経営者）	・当地域においても新型コロナウイルス感染者が出てしまったため、景気は悪くなるとみている。
×	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染者が地方ではまだ少ない状況であるが、今後全国的に広がれば今より一層の自粛を余儀なくされ、客の動きは悪くなると予測される。
×	衣料品専門店（店長）	・4～5月に掛けての自粛期間の影響が、9月以降、経済に大きな打撃を与えると予測される。
×	家電量販店（従業員）	・給付金特需があった分、反動減が必ず出てくる。2～3か月後は反動減がピークになってきている時期ではないかとみており、大きく落ち込む予測である。
×	住関連専門店（経営者）	・このところ新型コロナウイルス感染者が増加しており、3か月先くらいには食料品以外の買物を自粛する人が多くなることが考えられるので、景気は落ち込むと予測している。
×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・新型コロナウイルス第2波が懸念されている。Go To Travelキャンペーンも、むしろ地元は感染が広がるのではと戦々恐々しており、積極的に受け入れられる状況ではない。何とか今は我慢して年内中に先々の状況が見通せるようにしたいという意見が大半で、こししばらくは悪化も覚悟で耐えるしかないと考えている。
×	その他専門店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルス感染の広がりによる自粛ムードは年内で収まりそうにない。秋のイベントも全て中止で、客の来店が見込めない。

	×	高級レストラン（経営者）	・3か月程度でこの新型コロナウイルスが終息するとは思えないので何ともいえないところだが、簡単には良くならない。
	×	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンや特効薬が開発され終息しないと景気は戻らない。
	×	一般レストラン（経営者）	・お盆の帰省が制限されると予想しているので、売上が伸びる要素は見受けられない。これは当店のエリア全域で影響あることであり、夏祭りや秋の芋煮会にも影響大になる。よって景気は落ち込む。
	×	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの影響は今後ますます酷くなることが予想される。Go To Travelキャンペーンによる集客は見込めない。
	×	タクシー運転手	・緊急事態宣言解除後にまた新型コロナウイルスが大きく広がっており、当地においても同様である。ワクチンもまだできておらず収束が見えていないため、厳しい世情である。
	×	通信会社（営業担当）	・Go To Travelキャンペーンも見切り発車で効果が出ないとみている。新型コロナウイルスの影響で観光業、外食産業の盛り上がりも一部にとどまり、全体的には効果が出ないため、税金の原資が今後課題となり、景気も下降する一方とみている。
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り客足は戻らず、当面の間景気回復は望めない。
	×	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が改善しそうにない。当面は様子見である。
	×	その他住宅投資の動向を把握できる者（住宅展示場運営会社）	・具体的な要因がなく来場者数の減少が続いている。また、来場者数の向上につながるイベント実施ができないこともあり、来場者数が下がることを予想している。
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—
	○	農林水産業（従業者）	・天候が不順だが果物の生育は順調で、旧盆前に主力品種のものが最盛期を迎えるので、販売単価に期待が持てる。
	○	金属製品製造業（経営者）	・客先からの情報では、海外への出荷が想定よりも大きく回復しているとのこと。客先の回復から受注につながるまでは若干時間が掛かるとはいえ、徐々に受注も回復してくることが予想される。
	○	建設業（従業者）	・現在出件中案件の結果が出てくる時期にあたるため、一定程度の受注増は見込んでいる状況である。
	○	通信業（営業担当）	・国から在宅勤務7割の要請が出たため、リモートワークの見直しや、設備投資などで問合せが増えている。
	○	金融業（広報担当）	・インバウンドが消滅し開店休業状態だった観光、宿泊業は、7月の4連休及びGo To Travelキャンペーンのスタートを契機に国内需要が動き始めたため、回復基調が期待できる。
	○	その他企業〔企画業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だと考えられるので、良くなると軽々言えないが、これまでが底だったので相対的に良くなる。しかし、本当の意味で良くなるということではなく、回復の階段に足を掛ける程度とみている。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染が再び広がっており、再び人の動きが減り、秋の観光シーズンに影響がでないか心配である。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの第2波があり、期待できない。
	□	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルス感染拡大の収束がみえず、第2波が来ている現状では、悪い状況に変化はないとみている。
	□	電気機械器具製造業（企画担当）	・今後2～3か月先の景気は新型コロナウイルスの状況が大きな影響を及ぼすが、現在の第2波を考えると、電子部品業界は現在の状況まま推移すると予想される。
	□	通信業（営業担当）	・継続して客の反応を見ながら、徐々に対面営業をしていく。
	□	広告業協会（役員）	・新型コロナウイルス感染が拡大している状況であれば、商業施設における大型販売促進イベントも実施できず、それに伴う広告出稿もなくなり、業界全体としては苦しい状況が続く。
	□	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルスと共存しながらということを考えると、広告、広報の在り方が根本的に変わってくる。
□	広告代理店（経営者）	・新型コロナウイルス禍により、売上が前年比60～70%の状況が続いており、現状を良くする兆しがみえない。	

	□	その他企業〔協同組合〕 (職員)	・受注件数、低価格、コストダウン、超短納期等、依然として受注環境は厳しい状態であり、しばらくは回復も見込めない。今後ますます同業他社との受注競争が厳しくなる。
	▲	農林水産業 (従業者)	・梅雨が長引き、米やその他の作物の収穫量に悪影響を与えると予想される。
	▲	出版・印刷・同関連産業 (経営者)	・建設業界にも景気の影響が出てくることが予想され、景気は更に悪化する。
	▲	出版・印刷・同関連産業 (経理担当)	・新型コロナウイルス感染予防のため、各種イベントが中止、延期になっていることに加え、取引先の飲食業関係の不振により、受注残が前年比6～7割に落ち込んでいる。
	▲	窯業・土石製品製造業 (役員)	・民間投資が落ち込むことに加え、新型コロナウイルスや災害対策の関係で不要不急の工事が延期又は遅れる可能性もある。
	▲	電気機械器具製造業 (営業担当)	・新型コロナウイルスのワクチンや治療法が確立されていないなか、今後の景気が良くなるという判断をすることは難しい。また、米国、中国の貿易摩擦など、対立関係が浮き彫りとなっているのも今後の懸念材料だと考えている。
	▲	金融業 (営業担当)	・新型コロナウイルス感染拡大に終わりがみえない限り、厳しい状況が続くことが見込まれる。
	▲	経営コンサルタント	・事実上の第2波が到来しているとの認識が、消費者に外出を自粛させ購買を抑制させる。
	▲	司法書士	・取引先からの受託業務が減少している。登記所における登記申請件数が前年比1割程度減少している。
	▲	公認会計士	・建設業関係はおおむね現状維持で推移するとみているが、小売業、サービス業の売上回復はここ2～3か月では厳しく、全体としての景気は更に悪化するとみている。
	×	建設業 (企画担当)	・客先の設備投資計画の延期や中止は、受注予定の減少につながり、受注量の減少は競争の激化、さらには売上の低下に直結する。また、関連する専門工事業者にもその影響が及ぶと推察される。
	×	輸送業 (経営者)	・主要製造業取引先の減産は今後も固定化したようである。製品出荷はもちろんのこと、工場内の製造に関わる業務も減ることになるので、人員に余剰が発生してくることになる。他の客の売上が伸びないなか、ますます厳しい経営環境になってくる。
	×	コピーサービス業 (従業員)	・法人に対する訪問活動が主体で、現状、取引先と従来どおりの商談ができていない。一部電話、メール、FAX等を利用してテレワークで行っているが、対面での商談と同様にはいかず苦勞している。また、取引先も新型コロナウイルスの影響で先行き不安なため設備投資を控えている状態である。
	×	その他非製造業〔飲食料 品卸売業〕 (経営者)	・国内の新型コロナウイルス感染は非常に多くなってきており、外出するにも不安を抱えているというのが一般的である。集まるところに集まらなくなるというのは、それだけ消費量が減るということにもつながっている。この先、ますますそういったことに敏感になることもあるし、手取り収入が下がっているということもあり、厳しさは増すことが予想される。
	×	その他非製造業〔飲食料 品卸売業〕 (経営者)	・新型コロナウイルス感染者の増加による自粛要請が再び高まることを想定しており、移動制限による経済への影響は甚大になる。特に夏休みから秋の行楽シーズンで盛り上がるべき飲食、観光が振るわないことは大きな損失につながる。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—
	○	アウトソーシング企業 (社員)	・現在の新型コロナウイルス騒ぎが収まり、正常に社会が機能することを期待している。
	○	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・夜の飲食店では、時短営業などにより新型コロナウイルス感染防止策を具体的に取っている店舗が徐々に活気を取り戻してきている。エリア内で感染者が多発しなければ小規模イベントの復活などで更に上向きになる実感がある。
	□	人材派遣会社 (社員)	・3年前から計画していた当社が採用、選考、配置、定着を単独で担う外資生保事務センターの100名規模の増員が、新型コロナウイルス禍の影響なく9～10月に掛けて始動する。

□	人材派遣会社（社員）	・新卒採用や中途採用の件でいろいろな業種の経営者と話をしていると、既に採用をストップしている飲食業等では悪い状況は引き続き続くことが予想される。ただ、包装資材、パッケージや建設業の一部は堅調な状況が続いているので、やや悪い状況はそれほど変わらずに推移するのではないかと考えている。
□	人材派遣会社（社員）	・求人数の推移を見ても急回復する見込みはなく、一定維持が続くと考えている。
□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの特効薬、政府の施策もなかなかみえないため、年内はこの状況は大きく変わらないのではと考えている。
□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ウィズコロナ対応で対面の流通、サービス業が必死に新しい販促に挑戦していると思うようには伸びていない。加えて、観光業では期待したGo To Travelキャンペーン等の需要が伸びていない。期待度が高かっただけに落胆は大きく、死活問題は続いている。回復が見えての求人なので低迷は続くと思われる。
□	職業安定所（職員）	・地域の基幹産業の景況感の悪化は長期化すると予測している。
□	職業安定所（職員）	・新規求人数がやや上向く一方で、解雇、雇止めの情報もあり、気になるところである。
□	職業安定所（職員）	・月間有効求人数の動きは今年の3月以降減少傾向が続いており、しばらくは変わらないのではないかと考えている。
□	学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルス感染症防止の影響は今後も続く、若しくは拡大する感があるので、景気の状況は悪いまま継続されると予測している。
▲	職業安定所（職員）	・求人への応募や就職件数も前年比で減少しているものの、減少幅が縮小してきている。ただし、まだ回復傾向とはいえにくい状況である。
▲	職業安定所（職員）	・業種によっては求人が停滞している状況である。
×	人材派遣会社（社員）	・良くなる傾向が見られない。
×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響拡大への懸念とこの状況の長期化への不安などにより、人材活用数を手控えたり保留したりする傾向が少しみえてきている。
×	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス再燃により経済活動の停滞が長期化する可能性が高い。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響は続く。